

専門科目

令和3年11月20日(土)

自 9時00分

至 10時30分

答案作成上の注意

1. この問題冊子は、表紙を含み6ページ(表面のみ)です。
2. 解答用紙は5枚、下書き用紙は3枚です。
3. 受験番号は、すべての解答用紙の受験番号欄に必ず記入してください。また、解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定の箇所に横書きで記入してください。
5. 配付した問題冊子及び下書き用紙は持ち帰っても構いませんが、解答用紙は持ち出してはいけません。

〔I〕 以下の問題1から問題3に答えなさい。

問題1 価格支配者と価格受容者の違いを4行以内で説明しなさい。

問題2 ギッフェン財と下級財の違い及び両者の関連性について、4行以内で説明しなさい。

問題3 次の用語のうち4つを選択し、それぞれ2行以内で説明しなさい。なお、各解答欄の〔 〕に選択した用語を記入しなさい。

- (a) 兌換紙幣
- (b) 実質為替レート
- (c) 帰属家賃
- (d) マネタリーベース
- (e) 中央銀行
- (f) 国内総生産
- (g) セイの法則
- (h) 限界消費性向
- (i) プラザ合意
- (j) LM 曲線

〔Ⅱ〕 次の文章は、1890 年に来日したラフカディオ・ハーン（Lafcadio Hearn, 1850 年生—1904 年没）が、開国後の日本人と外国人について書いたものである。この文章を読んだうえで、以下の問題 1 から問題 3 に答えなさい。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から，公開していません。

著作権保護の観点から，公開していません。

出典：ラフカディオ・ハーン（著）・池田雅之（訳）『新編 日本面影』26 版，KADOKAWA，令和 2 年，305－318 頁。一部抜粋・改変。

問題 1 下線部(1)について，大晦日に金が必要になるのにはどのような事情があると考えられるか。当時の日本の時代背景や取引慣行を踏まえたうえで，100 字以内で説明しなさい。

問題 2 下線部(2)について，筆者が考えているであろう「もっと高度で、もっと幸福な社会」とはどのような社会か。当時の時代背景を踏まえつつ 100 字以内で説明しなさい。

問題 3 著者は当時の日本人の倫理規範や社会慣習を理解したうえで，日本について論評を行っている。現代においては，倫理体系の異なる人々の交流は，個人レベルのほか，職場など，よりさまざまな方面にも広がっている。今後，あなたの考える幸福な社会を実現するためには，異文化理解のための取り組みをどのように行えばよいと考えるか。本文を参考にしながら，あなたの考えを 500 字以内で述べなさい。

〔Ⅲ〕 以下の問題 1 から問題 3 に答えなさい。ただし、答えの導出過程や説明なども解答欄に書きなさい。

問題 1 小問 (1) ~ (3) の第一次導関数を求めなさい。

(1) $f(x) = 2x^4 + 2x$

(2) $f(x) = \log(1 + 2x)$ (ただし, $1 + 2x > 0$)

(3) $f(x) = 2xe^{2x}$ (ただし, e はネイピア数)

問題 2 利率率を r ($r > 0$) とし, 現在から T ($T > 0$) 年後まで毎年 100 円の一定の収入があるとする。このとき, 小問 (1) と (2) に答えなさい。

(1) T 年分の収入の割引現在価値を, r と T を用いた形で表しなさい。

(2) $r = 0.1$, $T = \infty$ のとき, ∞ 年分の収入の割引現在価値を求めなさい。

問題 3 横軸 x , 縦軸 y の xy 平面に 3 点 $(x, y) = (2, 4), (4, 2), (6, 8)$ が与えられたとき, これら 3 点に最も近い距離を通る線形関数 $y = ax + b$ の係数 a と b を, 3 点に対する誤差の二乗和を最小にするように求めなさい。